

取締役体制の変更

当社の持続的な成長およびさらなる企業価値の向上を目指し、取締役体制を変更しました。

取締役会は、実効性の高い経営監督機能と戦略策定機能に特化すべく、過半数を社外取締役で構成し、これまでより独立性を高めるとともに、ジェンダーや国際性の面からも多様性のある構成としており、多種多様な議論が可能な体制となっています。

新取締役体制の概要



✓ 社外取締役 6名/9名

✓ 独立役員 4名/9名

✓ 女性取締役 3名/9名

マネジメント紹介 (2019年3月26日現在)

取締役

吉松 民雄
取締役会長



カリン・ドラガン
代表取締役社長
コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)
代表取締役社長



ビヨン・ウルゲネス
代表取締役副社長 兼 最高財務責任者
(財務本部長)
コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)
代表取締役副社長 兼 最高財務責任者
(財務本部長)



吉岡 浩
社外取締役
独立役員



和田 浩子
社外取締役
独立役員



イリアル・フィン
社外取締役(監査等委員)



ジェニファー・マン
社外取締役(監査等委員)



行徳 セルソ
社外取締役(監査等委員)
独立役員



濱田 奈巳
社外取締役(監査等委員)
独立役員



執行役員

ヴィカス・ティク
執行役員
最高戦略責任者(経営戦略本部長)

レイモンド・シェルトン
執行役員
IR & コーポレートコミュニケーション本部長

尾関 春子
執行役員
法務本部長

本郷工場の移転と2020年春の再稼働を決定

平成30年7月豪雨により、当社グループでは、製造・物流拠点、自動販売機等の販売機器、車両、製品在庫等への被害が発生しました。なかでも、本郷工場(広島県三原市北方)と、隣接する物流拠点は浸水により大きな被害を受け、本郷工場は操業停止を余儀なくされました。

このたび、被災し操業を停止していた本郷工場を、同市内に移転し、「広島工場」として2020年春に再稼働することを決定しました。新工場の移転先として工場用地(広島県三原市沼田西町惣定、シャープ株式会社三原事業所跡地)を取得しており、2020年春にPETボトル製品製造設備2ラインでの稼働開始を目指し取り組みを進めています。

自己株式の取得

中期計画に掲げる効率的な資本構成の確立とROE改善に向け、2018年4月に当社の普通株式1,708万株(発行済株式総数の8.28%)を公開買付けの手法により取得しました。また、2018年11月には市場買付けの手法により、250億円/1,080万株を上限とした自己株式の取得を発表し、2019年2月22日までに、250億円/782万株(発行済株式総数の3.79%)を取得し、本自己株式の取得を終了しました。

ESG投資指標の「DJSI Asia Pacific」構成銘柄に選定

当社は、2018年9月に、世界のESG(環境・社会・ガバナンス)投資の代表的指標「Dow Jones Sustainability Indices(DJSI)」のアジア・太平洋地域版である「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄に初めて選定されました。引き続き、共創価値(CSV)を最も重要な経営課題のひとつと位置づけ、社会的責任に関する国際規格であるISO26000に則ったCSRをさらに進化させ、「健康」、「環境」、「コミュニティ」の柱にそって、事業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでいきます。

MEMBER OF
Dow Jones Sustainability Indices
In Collaboration with RobecoSAM

DJSIは、アメリカのS&P Dow Jones Indices社、およびスイスの投資顧問会社RobecoSAM社とが共同開発した株式指標であり、世界の大手企業3,400社以上を対象に、経済・環境・社会の3つの側面から綿密な調査を実施し、その評価をもとに持続可能性(サステナビリティ)に優れた企業を選定するものであり、ESG投資の世界的指標として、重要な投資先を選ぶ際の基準となっています。